

「明治150年」関連施策各府省庁連絡会議（第6回）

議事概要

平成29年7月14日(金)
14:15～14:30
官邸2階小ホール

議事次第に沿って議事が進められた。その概要は以下のとおり。

○ 議題（１）「明治150年」関連施策の中間とりまとめについて

田中内閣官房「明治150年」関連施策推進室次長より、資料1～3に沿って説明し、了承された。

○ 議題（２）「明治150年」アーカイブ関連施策に関する各府省庁連絡会議の開催について

田中内閣官房「明治150年」関連施策推進室次長より、資料4に沿って説明し、決定された。

○ 野上内閣官房副長官挨拶

- ・ 各府省庁においては、昨年12月に取りまとめた「『明治150年』関連施策の推進について」を踏まえ、関連施策の積極的な検討を行っていただき、先ほど説明があったとおり、国の施策が141施策、民間団体の施策が57施策と、合わせて200近くの施策を「中間とりまとめ」として取りまとめることができた。
- ・ 今回は、地方公共団体や民間団体の施策・取組も多く盛り込まれ、また、資料1にもあるとおり、市町村においても全国各地で検討が進められており、「明治150年」の認知度も広がってきていると考えている。各府省庁のこれまでの御尽力に感謝を申し上げる。
- ・ 今回の中間とりまとめは、あくまで現時点での集約であり、引き続き施策の充実に向けた検討を進めていただくとともに、施策の具体化・深化を図っていただくようお願いする。また、骨太の方針2017には、明治150年関連施策の推進について記述されており、平成30年度の概算要求に当たっては、積極的な取組をお願いする。
- ・ なお、資料2の概要資料にあるとおり、施策の分野によっては、取組が多いところもあれば、少ないところもあり、このような状況も勘案しつつ、更なる検討を進めていただければと考えている。
- ・ 「明治150年」関連施策を推進するためには普及啓発が重要と考えており、その有力なツールであるロゴマークについて、現在、クリエイティブ・ディレクターの佐藤^{かしわ}可土和氏を座長にお迎えして、選考会を開催している。6月28日には第1回選考会を開催し、一般公募で寄せられた398点の案から10点に絞り込みを行った。現在、ホームページ上で意見募集中であり、夏の終わり頃には最終決定を行う予定である。私も、第1回選考会に出席したが、意欲的で素晴らしい作品が応募されており、最終選考へ

の期待が膨らんでいる。

- ・ ロゴマークの決定は、「明治150年」をさらに多くの方に知っていただくよい機会になると考えており、明治150年に向けた機運を高め、日本各地で多様な取組が広く実施されるよう、ロゴマーク等も活用しつつ、更なる周知を引き続きお願いする。
- ・ また、明治以降の日本の歩みを改めて整理し、未来に遺していくためには、歴史的な資料の収集・整理、デジタルアーカイブ等を推進することが重要である。国立公文書館における明治期公文書のデジタルアーカイブの充実を始め、各府省庁において関連施策を検討していただいているが、本日設置された「明治150年アーカイブ連絡会議」の場も活用して、関係府省庁が連携し、施策の更なる充実を図っていただくよう、お願いする。

以 上